

2024 年度 レシテーション大会 韓国語 課題文

ペア部門

그늘 만들기

日陰づくり

홍 수희

洪・スヒ

8 월의 땡볕  
아래에 서면  
내가 가진 그늘이  
너무 작았네

8月の照りつける日差し  
その下に立つと  
私が持つ日陰が  
とても小さかったね。

손바닥 하나로  
하늘 가리고  
애써 이글대는  
태양을 보면  
홀로 선 내 그림자  
너무 작았네

手のひら一つで  
空を塞いで  
なんとか赤々と燃える  
太陽を見たら  
一人で立つ私の影  
とても小さかったね。

벗이여,  
이리 오세요  
홀로 선 채  
이 세상 슬픔이  
지워지나요

友よ  
こちらに来てください。  
一人立ったままで  
この世の悲しみが  
消えますか

나뭇잎과 나뭇잎이  
손잡고 한여름  
감미로운 그늘을  
만들어 가듯  
우리도 손깍지를  
끼워 봅시다

木の葉と木の葉が  
手を握って 真夏日に  
甘い陰を  
つくるように  
私たちも指を絡めて  
手をつないでみましょう。

네 근심이  
나의 근심이 되고  
네 기쁨이  
나의 기쁨이 될 때

あなたの心配が  
私の心配となり  
あなたの喜びが  
私の喜びになるとき

벗이여,  
우리도 서로의  
그늘 아래 쉬어 갑시다

友よ  
私たちも互いの  
陰の下で休んでいきましょう。

洪・スヒ

詩人。1995年に文芸集『韓国詩』で新人賞を受賞し、登壇。

この「日陰づくり」という詩は、人生と一緒に歩む友の存在について考えさせてくれる作品です。強い日差しが照りつける真夏日に友と一緒に陰をつくるという場面で、悲しみや喜びを分かち合う友の存在がクローズアップされています。大切な友を思い出しながら、あるいは、誰かの真実な友になるとはどういうことかについて考えながら、朗読してみてください。